

Cisco ONS15454 および Cisco ONS15327 脆弱性

severity アドバイザリーID : cisco-sa-20021031-ons-vulnerability
初公開日 : 2002-10-31 16:00
バージョン 1.1 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

多重脆弱点は Cisco ONS15454 光転送 プラットフォームおよび Cisco ONS15327 エッジオペティカルトランスポートプラットフォームにあります。すべての Cisco ONS ソフトウェア リリースは先により 3.4 脆弱です。

Cisco ONS15454E は CSCdx82962 からだけ影響を受けます。

これらの脆弱性は Cisco バグ ID CSCds52295、CSCdt84146、CSCdv62307、CSCdw15690、CSCdx82962 および CSCdy70756 として文書化されています。これらの脆弱性に対しては、影響を緩和するための回避策があります。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20021031-ons-vulnerability> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco ONS を実行するすべての Cisco ONS15454 および ONS15327 ハードウェアはより 3.4 がこれらの脆弱性から影響を受ける先にリリースします。

Cisco ONS15454E は CSCdx82962 からだけ影響を受けます。

ソフトウェアリビジョンを確認するために、CTC Network Management Software の help-about ウィンドウを表示して下さい。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

影響を受けないハードウェアは Cisco ONS15540 拡張 サービス プラットフォーム、ONS15800 シリーズ、ONS15200 シリーズ メトロ DWDM システムおよび ONS15194 Ip transport コンセントレータが含まれています。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2002- November- 04	またすべての修正を持っていますとして文書化されています ONS リリース 3.2.1。
リビジョン 1.0	2002- October-31	初回公開リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。